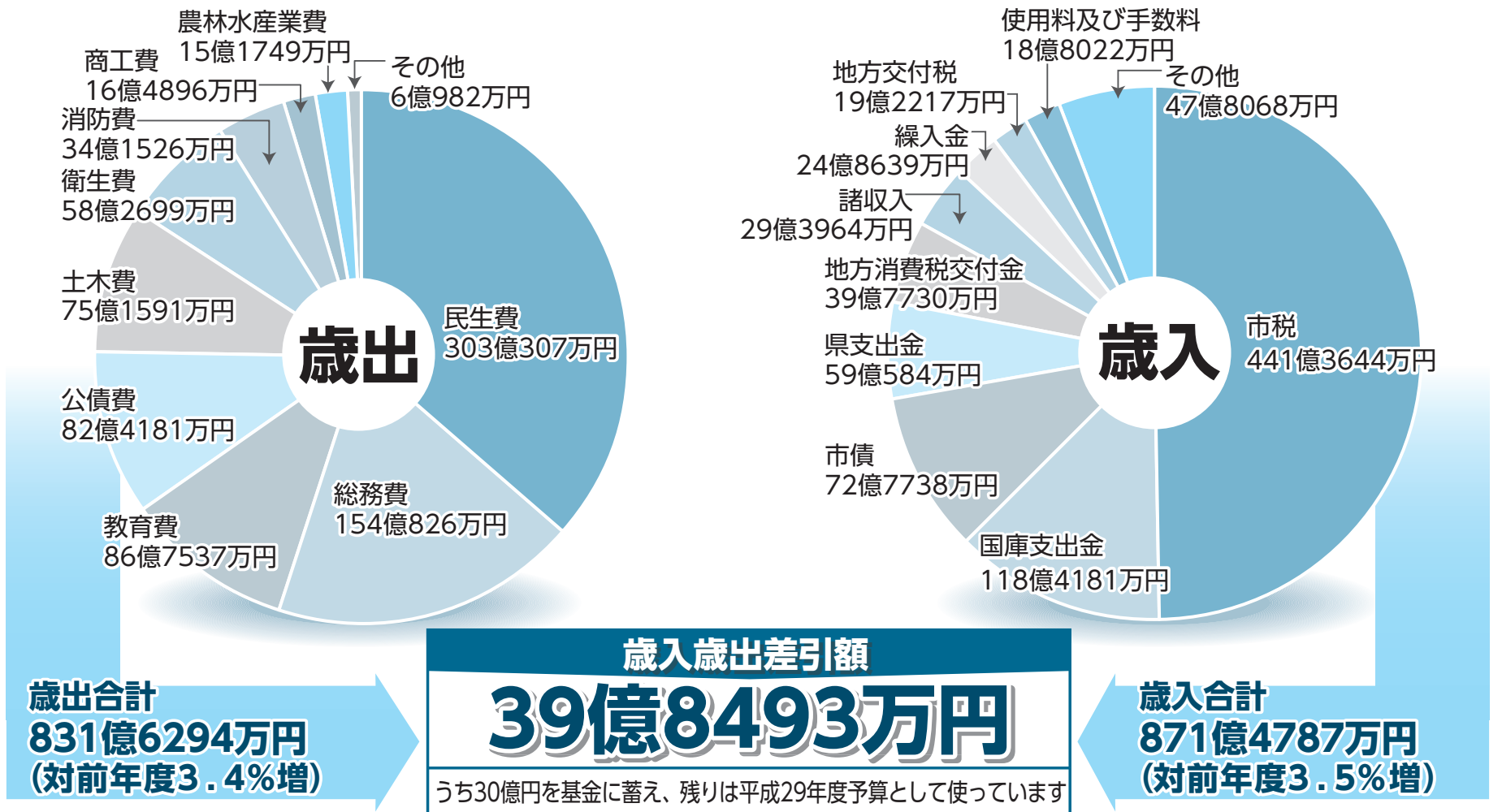


健全な財政運営に努めています

平成28年度 財政状況

30億円を財政調整基金へ積み立て

一般会計決算



歳入歳出決算の特徴をお知らせします

- 新市民会館や美術館・図書館（太田駅北口駅前）をオープンしました
- 生活困窮者向けの子どもの学習支援やフードバンク事業などにも積極的に取り組みました
- 法人市民税が前年度比約22億4千万円の増となり、将来の負担に備えて減債基金に20億円積み立てました
- 歳入歳出の差引額から翌年度事業の財源分を差し引いた31億9622万円を純粋な剰余金として残し、30億円を災害などの事態に備えるため財政調整基金（市の貯金）に積み立てました

歳出の用語解説

民生費	幼児やお年寄り、体の不自由な人のために使われるものです
総務費	市役所の全般的な事務に使われるものです
教育費	小・中、高等学校の経費や市民の学習・文化活動に使われるものです
公債費	借入金を返済するために使われるものです
土木費	道路や河川、公園の整備に使われるものです
衛生費	ごみ・し尿処理施設や予防接種などに使われるものです
消防費	消防活動や災害を防ぐために使われるものです
商工費	商業や工業の発展のために使われるものです
農林水産業費	農業の発展や土地改良のために使われるものです
その他	労働費や議会費、その他の歳出をまとめたものです

歳入の用語解説

市税	市民税や固定資産税など皆さんに納めていただいた税金です
国庫支出金	特定の事業を行うため国から交付されたものです
市債	建設事業費などを補うための借入金です
県支出金	特定の事業を行うため県から交付されたものです
地方消費税交付金	県に納められた地方消費税が、人口と従業者割合に応じて交付されたものです
諸収入	他の項目に分類されない収入です
繰入金	財源不足を補うための貯金の取崩しです
地方交付税	財源不足を補うため財政事情に応じて国から交付されたものです
使用料及び手数料	市の施設の利用や証明書などの発行に対する料金です
その他	財産収入やその他の歳入をまとめたものです

都市計画税や入湯税など目的税の用途

都市計画税 (13億9509万円)

街路整備、公園整備、下水道事業、区画整理事業等の都市計画事業費55億4022万円に充てられました(充当率25.2%)。

入湯税 (326万円)

観光振興事業費1619万円に充てられました(充当率20.1%)。

特別会計決算

会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険	256億6345万円	256億6064万円
住宅新築資金等貸付	3271万円	2651万円
後期高齢者医療	19億9131万円	19億8613万円
八王子山墓園	8136万円	7148万円
介護保険	147億6820万円	143億7978万円
太陽光発電事業	3億1365万円	2億9195万円

※単位未満の数字は端数処理をしてあります。

財政課 0276-47-1816

平成28年度決算に基づく財政の健全化判断比率・資金不足比率を公表します

下表のとおりいずれも早期健全化基準と経営健全化基準を下回る結果となっています。

健全化判断比率

(単位:%)

区分	平成28年度	早期健全化基準	財政再生基準	平成27年度
① 実質赤字比率	-	11.30	20.00	-
② 連結実質赤字比率	-	16.30	30.00	-
③ 実質公債費比率	6.4	25.00	35.00	6.9
④ 将来負担比率	50.6	350.00		51.7

※実質収支が黒字であるため、①実質赤字比率、②連結実質赤字比率の欄は「-」です。
 <参考>実質黒字の程度は 平成28:①6.77%、②9.42%
 平成27:①5.03%、②11.54%

資金不足比率

区分	28年度	経営健全化基準	27年度
下水道事業等会計	-	20.00	-
太陽光発電事業特別会計	-		-

※各会計とも資金不足は発生していないため、資金不足比率は「-」です。
 ※水道事業会計は平成28年度から群馬東部水道企業団に移行したことにより市では資金不足比率の算出は行いません。

比率などの概要

実質赤字比率	一般会計等を対象とした実質的な赤字の標準財政規模に対する比率 ※標準財政規模…自治体が通常水準の行政を行う上で、必要な一般財源の額(平成28年度=474億665万5千円)
連結実質赤字比率	全会計を対象とした実質的な赤字の標準財政規模に対する比率
実質公債費比率	一般会計等で借りた地方債の償還金と、公営企業が借りた地方債の償還金に対する一般会計からの繰入金などの合計額の標準財政規模に対する比率
将来負担比率	公営企業や公社なども含め、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率
資金不足比率	公営企業における資金の不足額(一般会計等の実質赤字に相当するもの)の事業の規模(料金収入など主たる営業活動から生じる収益などに相当する額)に対する比率
早期健全化基準	市町村の財政規模などにより設定された数値で、この基準を超えた場合は、財政健全化計画の策定などが必要になる
財政再生基準	市町村に設定された数値で、この基準を超えた場合は、財政再生計画の策定が必要になり、地方債の発行が制限されたりする

平成29年度上半期(4月1日~9月30日)の予算執行状況

今年度の予算は第2次太田市総合計画の目指す都市像である「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」の実現に向けて主なハード事業として、運動公園野球場建設事業や市営住宅建設事業(鳥之郷)などに取り組んでいます。またソフト事業として、第3子以降子育て支援事業に加えて新たに第2子子育て支援事業(給食費の半額助成)などにも取り組んでいます。

※一般会計の当初予算額は781億円です。

一般会計歳入

項目	予算現額	収入済額
市税	386億7122万円	233億5249万円
国庫支出金	123億1309万円	40億4685万円
県支出金	69億4909万円	10億3735万円
繰入金	64億2993万円	0円
市債	48億2410万円	0円
地方消費税交付金	41億円	24億1395万円
諸収入	38億157万円	4億9042万円
使用料及び手数料	19億1774万円	8億4780万円
分担金及び負担金	13億9747万円	6億8575万円
その他	35億7169万円	20億9235万円
合計	839億7590万円	349億6696万円
収入率		41.6%

一般会計歳出

項目	予算現額	支出済額
民生費	323億9743万円	122億3162万円
土木費	104億6224万円	34億5560万円
教育費	99億9742万円	33億4090万円
総務費	87億1704万円	34億6509万円
公債費	80億2480万円	29億7642万円
衛生費	58億8082万円	20億3183万円
消防費	35億6028万円	15億2620万円
商工費	26億4225万円	12億1392万円
農林水産業費	15億957万円	6億7856万円
その他	7億8405万円	3億2335万円
合計	839億7590万円	312億4349万円
支出率		37.2%

※歳入歳出には前年度からの繰越予算を含んでいます。

特別会計

会計名	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険	263億4983万円	96億6285万円	108億3068万円
住宅新築資金等貸付	1692万円	1213万円	7万円
後期高齢者医療	19億7964万円	7億787万円	6億2648万円
八王子山墓園	2億2946万円	5733万円	6334万円
介護保険	157億895万円	58億9358万円	62億1584万円
太陽光発電事業	3億648万円	1億6779万円	1億6588万円

※単位未満の数字は端数処理をしてあります。

市税の負担

市税予算額	386億7122万円	
1世帯当たり	40万8299円	
市民1人当たり	17万2389円	
9月30日現在の人口・世帯数	人口	22万4325人
	世帯数	9万4713世帯

一般会計における平成29年9月末現在の市債現在高

使途別

市債現在高	金額	割合
教育債	97億25万円	13.9%
土木債	91億974万円	13.1%
総務債	89億3882万円	12.9%
保健衛生債	37億8463万円	5.4%
臨時財政対策債	275億7938万円	39.7%
その他	104億3972万円	15.0%
合計	695億5254万円	100.0%

借入先別

市債現在高	金額	割合
政府資金	348億5045万円	50.1%
地方公共団体金融機構	71億9944万円	10.4%
銀行等(うち おおた市民債)	275億265万円(25億円)	39.5%(3.6%)
合計	695億5254万円	100.0%